

1 目指す学校像

- ・児童や保護者が誇りに思える学校
- ・児童が、学ぶ楽しさに日々触れることで、生涯学習の基礎を培うとともに、たくましく、心豊かに生きる力を身に付けることで、由井三小で学べて良かったと実感させたい。
- ・地域とともにある学校
- ・創立 152 年、地域運営学校として 12 年を迎えるにあたり、次の 10 年、20 年も見据え、将来地域や社会の担い手となる児童を、教職員・保護者・地域が一丸となって育てる。
- ・地域社会の信託に応える学校
- ・教職員自身も、由井三小で仕事ができることに喜びを感じ、自己啓発を行い、互いに高め合うとともに、児童のために結束して公教育の使命を果たす。

【教育目標】

- ともになかよく
- （徳）
- …人と自然が共生できる力を培う
- ・ ・ ・
- ◎ 今年度の重点目標
- 楽しく学ぶ
- （知）
- …生涯学び続ける力と態度を養う
- 元気な子
- （体）
- …共に学び合い磨き合える、強い体力と気力を育てる

2 中期的目標と方策 ・ 今年度の取組目標（重点）と方策

中期的目標と方策	今年度の取組目標（重点）と方策
（１）人と自然が共生できる力を培う ・ <u>望ましい人間関係の構築</u>を図る。 ・ <u>自他の生命や心情を大切に</u>する資質能力を育成する。 ・ 人格と個性を尊重し、<u>多様性を認め合う</u>人権意識を高める。 ・ 「夢大地」を活用した教育の充実と<u>郷土愛の醸成</u>を図る。 ・ 地域や保護者と手を携えて、ともに児童の<u>愛校心</u>を育てる。	● <u>さわやかな挨拶と返事・適切な言葉づかい・相手を尊重した呼名・丁寧な話し方・接し方等を習慣化させる。</u> 「自分のことが好き。」ありのままの自分を受け入れる自己肯定感をもてるよう、褒める機会を多くする。 ● 人権教育やいじめ防止のための授業（学期に 1 回）、「こころの日」（月 1 回）を通して、いじめや暴力は絶対に許されないという、強い信念を育てる。 ● 金曜日の 6 校時にあたる時間を「<u>いじめ対応の時間</u>」とし、各種研修や情報共有を綿密にすることで「いじめの芽」の段階から迅速かつ適切に対応する。 ● つくし学級（特別支援学級）の児童や副籍児童との交流を通し、障害の有無にかかわらず、共に人格と個性を尊重し合える児童、<u>多様性を認め合える</u>児童を育成する。 ● 優れた地域人材や豊かな環境を生かした農業体験・自然観察活動・地域伝統芸能習得活動（<u>「夢大地」の取組</u>）や郷土学習を通して、生活科・総合的な学習の充実を図るとともに、<u>地域を愛する心</u>の醸成を図る。 ● 学年の発達段階や学習内容に沿って、地域の自然を活用した授業を計画することで、<u>学校や地域に対する愛着</u>や伝統を重んじる態度を育てる。
（２）生涯学び続ける力と態度を養う ・ 学習指導要領に基づき… <u>生きて働く知識・技能を確実に習得させる。</u> <u>思考力・判断力・表現力等</u>の育成を図る。 <u>学びに向かう力・人間性</u>を育む。 ・ <u>どの子にも分かる授業、楽しい授業</u>を展開する。 ・ <u>入学前から義務教育修了まで、一貫した教育</u>を行う。	● 記憶、思考、理解、計算、言語、判断などの認知機能の向上を図り、<u>主体的に学び続ける力</u>を身に付けさせる。 ● <u>一人一台の学習用端末を文房具の一つのように活用</u>し、個別最適な学び・協働的な学びを推進する。 ● 一部<u>教科担任制</u>に向けて、昨年度に引き続き高学年の理科・社会に導入し、時間講師も活用することで、児童にとって一層学びの深い授業を目指す。 ● 学校経営計画を<u>校内研究に反映させ、学習過程を肯定的に自己評価し、成果を認め合える児童を</u>、年間 3～4 回の研究授業を通して育成する。 ● 「八王子市学力定着度調査」等各種学力調査や「はちおうじっ子ミニマム」の結果を分析し、<u>授業改善を図る</u>とともに、ドリル型学習コンテンツや東京ベーシック・ドリル等を活用した補習指導を行い、算数科を中心に基礎的知識や技能の習得を図る。 ・朝学習・<u>短い時間を活用した学習指導</u> … 新出漢字の学習 ドリル型コンテンツの有効活用 朝から学習に向かうリズムづくり ・のびのびタイム … 3・4 年生を対象に実施。火曜日・木曜日の 6 校時の枠、金曜日の 5 校時の枠で行う。 ・<u>1・2 年生算数に時間講師を加えた少人数授業を実施</u>し、小学校算数科の基礎において、誰一人取り残さないようにする。 ● 入学前から義務教育修了まで一貫した教育が行えるようにする。近隣の保育園・幼稚園や学童保育所等と連携し、<u>スタートカリキュラムに沿って、円滑に</u>小学校生活を始められるようにする。<u>由井中学校グループ 4 校</u>が連携して、基礎学力などについて情報交換や共通した取組を計画・実施する。
（３）共に学び合い磨き合える、強い体力と気力を育てる ・ 健康への関心を高め、<u>自らの健康を維持管理できる力</u>を育成する。 ・ <u>生涯にわたり、運動に親しむ習慣</u>を身に付けさせる。 ・ どのような状況下においても、<u>物事をやり抜く根気強さやたくましさ</u>を身に付けさせる。	● 健康で安全な生活を実現するために必要な知識や技能を身に付けさせる。 ・体育科の学習（保健領域） 特別活動 総合的な学習 セーフティ教室 薬物乱用防止教室 自転車安全教室 歩行訓練 等 ● <u>体力・運動能力、生活・運動習慣等調査に向けての取組や調査結果の分析</u>から、自らの課題を見付け、改善に取り組ませる。 ● 運動の効果や楽しさを実感させ、生涯にわたって運動に親しむ習慣を身に付けさせる。（・2 学期マラソン月間 ・3 学期長縄大会 ・縄跳びカードの取組等） ● 「夢大地」の取組を通して、名人に学ぶ<u>機会の確保</u>に努め、厳しい状況下でも物事をやり抜く根気強さやたくましさを学ばせる。 ● <u>「はちおうじっ子キャリア・パスポート」を活用</u>し、学校行事の前後や学期末に記入、振り返りを行うことで、自己の変容に気付き、前向きに学校生活を進めていこうとする意識を高めるとともに、<u>目標を立て、最後まで物事をやりきる力</u>を養う。
（４）小中一貫教育の充実と開かれた学校を目指す ・ 由井中学校グループ（由井中・由井第二小・由井第三小・片倉台小）における「9 年間で育てたい児童・生徒像」を定め、連携を深め、小中一貫教育の充実を目指す。 ・ <u>教員の交流</u>（対面での情報交換や授業参観）や<u>児童・生徒の交流</u>を計画的に行う。 ・ <u>教育活動の様子や情報の公開</u>、積極的な<u>発信</u>に努める。	● 小中 4 校で連携を深めることで、<u>自分で考え判断し行動できる生徒、社会に貢献できる生徒、夢をもって挑戦できる生徒</u>を地域で育てていく。 ● 由井中学校グループ 4 校「合同で行う活動」（あいさつ運動週間や CC 大作戦、職場体験）を実施し、児童・生徒の交流も計画的に行う。 ● 学校運営協議会委員の意思を尊重した上で主幹教諭も参加させ、保護者や地域住民の知恵や意見を学校運営に反映させながら、<u>学校運営協議会の機能を一層向上させ、教育活動の充実を目指す</u>。学校運営協議会主催事業として、海洋教育の出前授業と<u>不登校児童等の居場所づくり</u>を実践していく。 ● 保護者に学校の様子を直接見て、知っていただくために、学校公開を貴重な機会ととらえ、発信していく。学校行事や学年行事、授業等に<u>保護者ボランティア</u>を募ったり、参観等と呼びかけたりする。 ● 学校ホームページの「学校日記」を週 2 回以上更新することで、情報発信をしていく。

